

2023 年 6 月 30 日

農林中央金庫

農林中央金庫と人材サービス企業で構築した“労働力確保スキーム”の取組状況について



農林中央金庫（代表理事理事長：奥和登、以下「当金庫」）は、人材サービス企業の株式会社アグリトリオ、株式会社アグリメディア、Kamakura Industries 株式会社、株式会社 Life Lab の 4 社と 2022 年 3 月 31 日付で業務提携契約を締結し、労働力を必要とする農家・担い手向けに労働力確保スキームを構築しています。

具体的には、労働力を必要とする農家・担い手が、JA・信連（信用農業協同組合連合会）・当金庫（以下、まとめて「JA バンク」）から紹介を受けて、提携する人材サービス企業を利用する場合は、“JA バンク紹介案件”として正規料金より 5～10%の割引を受けられる枠組みです。農家・担い手が各種人材サービスへの理解を深め、より多くの選択肢の中から、割安に人材サービスを活用いただくことで、農業分野の労働力確保を後押ししていきたいと考えております。

2022 年度は、各都道府県の JA 等に対して、本スキームの紹介・加入に取り組んできた結果、2023 年 3 月末時点で全体の 7 割にあたる合計 32 県域で利用が進み、本スキームに加入する JA 等の数は 120 を超える状況となりましたので、ご報告いたします。

（労働力確保スキームへの JA バンクの加入実績）

サービス	提携人材サービス	加入県域数	加入JA等数※
求人広告		32県域	125
			
人材紹介		32県域	124
バイトアプリ		29県域	121
			

（※加入 JA 等数とは、JA に加えて、信連・当金庫支店の加入数を含む）

各種サービスの中で「バイトアプリ」については、既に日単位の採用実績が相当数あったことから、今回、提携企業である株式会社アグリトリオおよび Kamakura Industries 株式会社にご協力いただき、バイトアプリのアルバイト採用者数や属性等について分析を行っております（別紙参照）。

今後も、労働力確保スキームを取り組んで行くなかで得られた情報等も活用し、提携企業と連携しながら、農家・担い手にとってより良いサービスを提供出来るよう取り組んでまいります。

（参考）

・ 提携企業の詳細

業務提携している人材サービス企業および提携サービス名は、記載のとおりです。（※当初提携していた株式会社マイナビの求人広告「マイナビ農林水産ジョブアス」は、同社のサービス停止決定を受け、2023 年 3 月 31 日付にて提携を解除しております。）

＜提携先企業＞	＜提携サービス名＞
株式会社アグリトリオ	バイトアプリ「農 How」
株式会社アグリメディア	求人広告「あぐりナビ」
Kamakura Industries 株式会社	バイトアプリ「daywork」
株式会社 Life Lab	求人広告「農業ジョブ」および人材紹介サービス

（五十音順、2023 年 6 月末時点）

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 コーポレートデザイン部 広報コミュニケーション班（宮澤・水元）

TEL：03-6362-7172

【別紙】

（バイトアプリの加入・取組実績について）

2022 年度、バイトアプリでは、労働力確保スキームの中で、労働力を必要とする計 123 先の農家・担い手が提携企業のサービスを利用しており、その結果、日単位の採用数の合計が 1,483 名となっています（アルバイトとして農業に参加）。

サービス	提携人材サービス	加入県域数	加入JA等数	労働力を必要とする農家・担い手で人材サービス企業の利用数	人材サービス企業に申込みをおこなってきた求職者数（アルバイトとして採用）
バイトアプリ	 農How 農業にもっとワクワクを 次世代農家のためのプラットフォーム	29県域	121	123先	1,483名
	 1日バイトアプリ デイワーク daywork			－ 先	－ 先

（2023 年 3 月末時点）

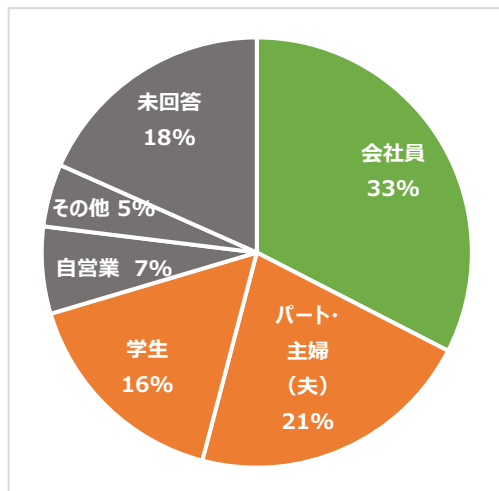
（※）「daywork」は、2023 年 3 月末時点で、サービス利用料が無料となっており、“JA バンク紹介案件”によるサービス利用料の割引が適用外であるため、求人および採用にかかる実数を記載しておりません。

（バイトアプリ「daywork」におけるアルバイト採用者の特徴について）

Kamakura Industries 株式会社より、バイトアプリ「daywork」のアルバイト採用者約 16,000 名の特徴について情報提供をいただきました。

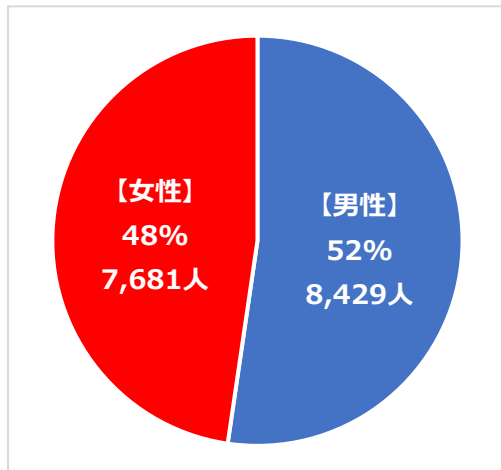
いただいた情報をもとに「アルバイト採用者の属性」、「男女割合」、「世代別のアルバイト採用者数」について、以下のとおり分析をおこなっております。

(バイトアプリのアルバイト採用者の属性について)



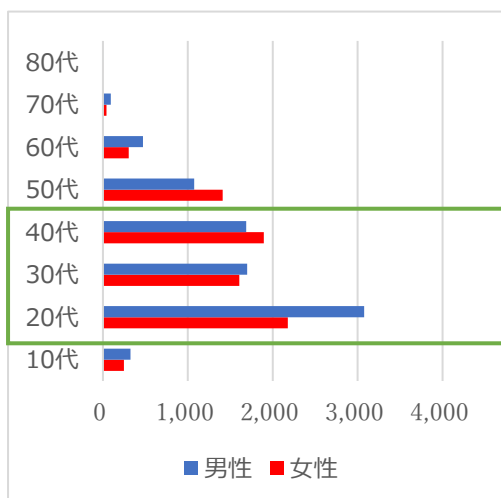
- バイトアプリを利用しているアルバイト採用者の属性としては、会社員が副業という形で農業に参加する割合が33%と一番高い
- スキマ時間を利用して農業への参加がしやすいパート・主婦（夫）と学生の割合は、会社員の次に高く、合算すると、全体の37%と大きな割合を占める

(アルバイト採用者の男女割合について)



- バイトアプリを利用しているアルバイト採用者の男女比は、概ね半々であり、農業参加を希望する男女の割合に大きな差はない

(世代別のアルバイト採用者数について)



- バイトアプリを利用している世代別のアルバイト採用者は、男女共通して20代～40代の働き盛り世代の利用が多く、全体の求職者の75%超を占める
- 男性では20代のアルバイト採用者が多い一方、40代、50代では女性のアルバイト採用者の方が多い結果となっている

(データ提供元：Kamakura Industries 株式会社)